

こうざ えもんつうしん 平成26年12月14日
講左衛門通信 第35号

発行 天台宗忍草山東円寺
〒401-0511
南都留郡忍野村忍草38
☎ 0555-84-4114

『講左衛門さん、今年も残り半月でまっすん。あっという間の1年だったでまっすん。講左衛門通信では、講左衛門さんから様々なことを教えてもらったでまっすん。けれども、忘れてしまったこともあるでまっすん。少しおさらいをしたいでまっすん。』

『そうじゃな。では、今年の年初めはどんな話をしたのか覚えておるかクニマッスン・・・』

『覚えているでまっすん。忍野八海が再興された時の収支決算報告書の話だったでまっすん。富士山世界文化遺産のすべての構成資産が推薦された分厚い報告書は英訳されているでまっすん。その中に忍野八海が構成資産としてふさわしい証拠として、写真入りで添付された古文書でまっすん。とても重要なものでまっすん。』

『よく覚えておったな。クニマッスンにとって、今年一番記憶に残っている話はなんじゃ?』

『それは・・・東円寺の本堂の天井絵を描いてくれた中村錬吉常明さんの話でまっすん。鳳凰と龍が陰と陽であったこと。それは、陰陽道という教えがもとになっていること。忍野八海が再興できたのは、縁ある人のお陰に現在がある事を知って、とても考えさせられたでまっすん。』

『何事も同じ事なんじゃが、現在我々が物質的に豊かに暮らせていられるのは先人たちのお陰なんじゃ。自分たちの力だけではないことを忘れてはいかんのじゃ。忘れないということは、感謝することじゃ。感謝ができると行動が変わるんじゃよ。』

『行動が変わる? ということではまっすん? 感謝と行動が結びつかないでまっすん。』

『逆を想像してみるんじゃ。自分がこうした。ああした。と思っていると、何をしても許される気持ちになるのが人間じゃ。しかし、誰かにああしてもらった。こうしてしてもらったと感謝したら、その人の顔が浮かぶじゃろ。こんなことをしていたら申し訳ないという気持ちになるんじゃよ。何より心が大切なんじゃ。その気持ちが「守る」という心を生むんじゃよ。』

『忍野八海を守るためには、大寄友右衛門さんをはじめとする多くの寄付を下された方々に感謝することが大切だということではまっすん。胸に刻むでまっすん。』

『そうじゃ。それから若い世代に語り継ぐことじゃ。多くの人に語り継ぐ大切さを伝えたい、その一心で講左衛門通信を発行させてもらっておるんじゃよ。今年最後の講左衛門通信じゃ。来年も、最新情報を織り交ぜながら、忍野八海について様々な情報を発信したいと思っておるんじゃ。一年間大変お世話になった。来年が良き年となるよう祈っておるぞ。』



ふじのだいがこうざえもん
富士大我講左衛門 年齢不詳
職業 大我講の先達
(先達とは案内責任者)



クニマッスン
出生地 忍野村
山梨県水産技術センター
口癖 でまっすん..

『講左衛門通信』は、第2・第4日曜日に発行予定
年末休刊のお知らせ

12月28日(第4日曜日)はお休みさせていただきます